報告第１号補足資料　事務の取組状況（R7/1/9開催 議会全員協議会での意見）

１．増永議員

●前期基本計画の検証について、後期基本計画中で見えてこないがどのように実施しているのか。また、江差町として前期基本計画をどう評価しているのか。

⇒江差町としての評価は、毎年度策定している実施計画で評価しており、その内容をもとに、町内外の有識者で構成される検証委員会で、計画の評価・検証を行っている。

２．小野寺議員

●審議会での審議経過について、公表されているか。

⇒審議会の資料、議事録はＨＰで公開している。

●「第１節　本町の未来に向けて」の中でＤＸ推進ビジョンの策定をうたっているが、進捗状況を教えてほしい。

⇒ＤＸ推進ビジョンについては、総務課にて取り進めている。

ビジョンの策定に際しては、江差町の現状に即した形で進める必要があり、国や道の指導をもらいながら進めていきたい。

また、総合計画への記載は、現状ビジョン策定前のため掲載することはできない。

●個別施策「(30) 行財政運営・広域連携」の中で「中期的な財政見通しと運営方針の策定」の記述がある中で、後期基本計画に合わせた中期財政運営方針を更新する必要があると考えるがどうか。

⇒中期財政運営方針の見直しについては改めて議会で説明する。

※R7/1/28 の議会全員協議会で説明済。

●広域連携の取組について、後期基本計画の中で具体的に記述する必要はないか

⇒今後、人口減少が進み持続可能な地域を目指す上で、連携は必要であると認識しているが、関係町との協議が必要であり、江差町の総合計画の中で具体的な記述はできない。

裏面あり

●江差マースの成果指標について、費用対効果の面からみると５年後の指標が低いのではないか

⇒江差マースは、福祉的な側面をもつ事業であり費用対効果という考えはなじまないと考える。

また、指標は江差町地域公共交通計画の目標値と整合性をとったもの。

３．塚本議員

●町民アンケートの結果から雇用施策の満足度が低いことがうかがえるが、洋上風力発電に伴う企業誘致や雇用創出を記述する必要はないか。

⇒洋上風力に係る地域振興策は、法定協議会で議論がされており、江差町単独の計画に記載することは難しい。

４．出﨑議員

●宿泊税について、観光施策の財源に有効と考えるが、審議会で議論はあったか。

また、記載する必要はないか。

⇒審議会では宿泊税に関する議論はなかったため、宿泊税に関する意見は審議会にも共有したい。

●防災拠点、災害時の復旧・復興拠点としての港湾整備について記載する必要はないか。

⇒江差港は洋上風力事業の中で、補完港として位置付けられている。

洋上風力事業は檜山海岸だけでなく渡島も含めた広域で進んでおり、関係機関との調整を要することから江差町単独の計画に記載することは難しい。